

## 酒と薬

お正月はお酒は付きもので、酒を飲むと体が暖まったり、疲れが取れそうなので、酒で薬を飲むともっと効果が出るのではないかと酒で薬を飲む人がいますがお薦めできません。

酒は肝臓で分解されますが、薬もやはり肝臓で代謝されますので、お酒と薬をいっしょに飲むと肝臓に大きな負担をかける事になります。また、薬とアルコールの相互作用(二つ以上の成分が体の中に入った時悪い作用を起こす)のため、薬の効き目が強くなりすぎ危険な状態になる事もあります。

たとえば、血糖降下の薬を飲んでいる人が、酒といっしょに飲むと、血糖が下がりすぎ昏睡状態になったり、精神障害を起こす事があります。また、酒と鎮痛薬をのむと胃腸の出血をおこしやすくなります。

そのほかにも、お酒と相性の悪い薬として、降圧剤や睡眠薬、精神安定剤など薬がありますが、いずれにしても酒で薬を飲んだり、酔っているときに薬を飲む事はさげましょう。

毎日晚酌をする方で血圧の薬などや血糖の薬を飲んでいる方は、酒は止めたほうが良い病気ですからこの際毎日の晩酌はお止めになってはいかがでしょうか。